



相生だより

11月号 令和3年10月29日

大田区立相生小学校

校長 山口 勝己

感謝する心を

校長 山口 勝己

10月2日(土)の体育学習発表会には、たくさんの御声援をいただき、ありがとうございました。徒競走、全員リレー、音楽に合わせた準備運動・整理運動と、限られた活動ではありませんでしたが、子どもたちが生き生きと運動する姿は、お見せできたかと思えます。子どもたちなりの達成感、満足感を11月の学習発表会に繋げていきたいと思えます。保護者の皆様からいただいた御意見は来年度に生かしていきます。

さて、10月18日(月)～19日(火)に、6年生と伊豆高原移動教室に行ってきました。昨年度は移動教室が実施できず、今年度も緊急事態宣言が長期化したことで危ぶまれておりましたが、無事に実施できたことを嬉しく思います。例年の2泊3日が1泊2日となったことで、少し窮屈な日程ではありましたが、子どもたちは移動教室ならではの活動を楽しんでいました。

今回、出発式で、子どもたちに話したことの一つに「感謝の心をもつこと」があります。移動教室には、良き思い出となるために、また、良き体験学習となるために多くの大人の人たちが関わっているということ。そして、その気持ちに応えるために、良き行動をとることが必要であることを投げかけました。



移動教室中、子どもたちには「あいさつやお礼」「真摯な態度で話を聞く」「きまりを守って生活する」「与えられた役割を全うする」

等、感謝する気持ちを意識して行動する姿が多く見られました。あたりまえのように感じ、見過ごしてしまいがちな関わりですが、自分たちのためにやってくれているという心に気付く、感謝する心をもつことができたことがこの移動教室で得た最も大きな学習になったと思えます。ミカン狩り体験を指導していただいた農園の方、ハイキングに同行し、ガイドをしていただいた自然案内人の方、輸送をしていただいたバス会社の方、宿泊でお世話になった伊豆高原学園の職員の方に心より感謝いたします。

11月は学習発表会があります。また、高学年は12月の大田区小学生駅伝大会に向けての練習も本格化してきます。少し慌ただしく感じる時期ではありますが、一つ一つの行事への取組が子どもたちを活躍させ、成長させる貴重な機会になります。しっかりと盛り上げ、達成感、満足感を味わわせていきますので、御理解、御協力をよろしくお願ひします。

11月の生活目標

◎進んで仕事をしよう

- ・当番活動をしっかりしよう
- ・受け持った仕事は最後までやりよげよう
- ・係や委員会の仕事をしっかりしよう
- ・声をかけあって、仕事をしよう